

四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業の 事業再評価に関する管理者コメント

四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業について、昨今の建設資機材価格及び労務単価の上昇等を踏まえれば直轄事業費が増大となることはやむを得ないと考えていますが、私からは、可能な限り事業期間を圧縮するよう強くお願いするとともに、令和8年度に何らかの効果を発現させるよう強く申し入れてきました。

結果、現場の進捗を踏まえた管理組合の見込みでは、事業完了年度は令和13～14年度程度と想定していたところ、令和12年度完成と事業期間の圧縮に努めて頂き、また、令和8年度に岸壁120mの先行的な利用を考えて頂きました。

加えて、四日市港の課題である南北軸臨港道路の検討会を開始することとなったと聞いており、国が我々の要望をしっかりと受け止め、四日市港の振興に努力いただいたことに感謝を申し上げます。

管理組合としましては、引き続き、計画的かつ重点的な整備推進及び必要となる予算を確保するよう、国等に働きかけてまいります。

令和5年12月22日
四日市港管理組合管理者
三重県知事 一見 勝之